

決議事項要約
国際理事会会議
米国ハワイ州ワイコロア
2022年4月22日～25日

監査委員会

- 委員会はライオンズクラブ国際協会内部監査部門から最新報告を受けた。引き続き行動計画のフォローアップと監視をおこなう。

会則及び付則委員会

- 3231-A3 地区（インド）の国際理事推薦の抗議申し立てを却下し、Pankaj Mehta を準地区の正規の推薦候補者として認めた。
- 3234-D2 地区（インド）の第一副地区ガバナー選挙の抗議申し立てを却下し、2022～2023 年度の第一副地区ガバナー職の空席は空席補充手続きに則って補充されるものであることを確認した。
- 3234-D2 地区（インド）の第二副地区ガバナー選挙の抗議申し立てを却下し、Sunil Checker を 2022～2023 年度の第二副地区ガバナーとして認めた。
- 322-G 地区（インド）の第二副地区ガバナー選挙の抗議申し立てを却下し、Seema Goenka を 2022～2023 年度の第二副地区ガバナーとして認めた。
- 現行の慣習に合わせた理事会方針書 25 章「紛争処理手順」の変更を承認した。

大会委員会

- 2023 年国際大会の現地参加登録料金表への調整を承認。大人の登録料を引き上げ、またライオンズが早期および通常登録料割引を受けられる期間を延長した。
- 米国マサチューセッツ州ボストンにおける 2023 年国際大会の代表団ホテル割当を承認した。
- 国際理事会方針書 8 章の選挙に関する方針を現行の慣習に合わせて改訂することを承認した。

地区及びクラブ・サービス委員会

- 2022～2023 年度のクラブ優秀賞および地区優秀賞を改訂した。
- 2022～2023 年度のコーディネーター・ライオンを任命した。
- 標準版地区会則及び付則に収録されている、第一および第二副地区ガバナー用の指名用紙見本にある条件を改訂した。
- 標準版複合地区会則にある国際会則の言及箇所を訂正した。
- 地区ガバナー経費払戻し方針を修正した。
- 理事会方針書 9 章に掲載されている地区および複合地区の委員長およびコーディネーター職のリストを訂正した。

- コーディネーター・ライオンに関する方針を改訂し、選定手順と、地区編成済みエリアと未編成エリアを担当するコーディネーター・ライオンの経費について明確にした。
- 標準版クラブ会則及び付則におけるクラブ・マーケティング委員長職を修正した。
- 標準版地区会則及び付則に地区マーケティング委員長職と地区グローバル・エクステンション・コーディネーター職を追加した。
- 標準版複合複合付則に複合地区マーケティング委員長職を追加した。

財務及び本部運営委員会

- 従業員の生命と安全、建物の維持および改良のための設備投資、メンテナンス、修繕の見積もりとして概算された、2022年7月から2026年6月までの期間にわたる約870万ドルのキャッシュ支出を承認した。
- 赤字となる2021～2022会計年度第3四半期の収支見通しを承認した。
- 理事会方針書12章EXHIBIT Bを改訂。
- 理事会方針書21章を改訂。

リーダーシップ開発委員会

- モントリオールで2022年6月23～24日に行われるFVDG/DGEセミナーのスケジュールを確定した。
- 2022年国際大会における2022年FVDG/DGEセミナーの第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト・セミナー・アソシエイトおよびその成人同伴者の、宿泊および旅行経費払い戻し方針に対する今回限りの例外措置を承認した。
- 2022～2023年度第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト・セミナーのカリキュラム計画とスケジュールを承認した。
- 理事会方針を改訂し、レオライオンが共同ファシリテーターを務めるレオおよびレオライオン・プログラム（2023～2024年度に関連する研修から）を第二および第一副地区ガバナーの必須研修トピックに追加した。
- 会則地域ごとの三つ目の国際研究会を提供するために、2022～2023年度のリーダーシップ開発予算に500,000ドルの割当金を承認。

長期計画委員会（2022年1月会議の報告）

- ライオンズ国際戦略計画の最新報告を受けた。
- 地区ガバナーの役割と、研修および育成計画の変更について討議した。
- 次期国際会長のテーマとメッセージを確認した。
- マーケティング・シンクタンクから学んだ教訓と、クラブレベルでのマーケティングの技術、自信、能力を向上させるためのアプローチについて確認した。
- 201複合地区から寄せられた、ライオンズ道徳綱領に環境に関する文言を追加する提案について討議した。

マーケティング委員会

- PR 補助金プログラムについて検討し、この取組みの人気の高まっていることを確認。2022～2023 年度の PR 補助金プログラムの予算増額を承認した。
- パサデナのライオンズから提出された、2023 年ローズパレードのスポンサーシップに関する提案を検討、承認した。
- 今後 3 年間のピーチボウル・スポンサーシップ・プログラムを検討、承認した。
- ミネソタ・ワイルドのためのスポンサーシップ・プログラム「ワイルド・ライオンズ・デー」と関連予算を検討、承認した。
- 執行役員の旅行中のメディアサポートを提供する、執行役員 PR プログラムと関連予算を検討、承認した。
- 理事会方針書 16 章 B.4.項の「これをその他の目的に使うことはできない。」という文言を「編集費、制作費、発送費に充当されるべきものである。」に置き換え、さらに「広報活動など、他の目的のために利用することができる」という文言を「マーケティングおよび広報活動のために利用することができる」に置き換える変更を承認。
- 理事会方針書 19 章の国際プロトコールの「13. 地区ガバナー」のすぐ下に「14. コーディネーター・ライオン」を追加し、以降の項番を繰り下げる変更を承認。
- 理事会方針書 16 章 A.4.h.項を改訂し、「、特に 100 周年に係るもの」という文言を削除する変更を承認。
- 理事会方針書 16 章 D.3.項を改訂し、8 行目の「and」(と)を「or」(か)に置き換える変更を承認。

会員増強委員会

- ライオンズ国際戦略計画とレオクラブ・プログラム戦略計画の実施状況について進捗報告を確認した。
- 確立されたすべての慈善団体がプログラムのメリットを活用できるよう、「力を合わせよう」プログラムを改良した。
- グローバル・メンバーシップ・アプローチの初動の進捗報告と、プロセスを支援するリソース、およびパイロット地区における成功を示すデータを確認した。
- より多くの地区が資金を利用できるよう、会員増強補助金を改良した。
- 会員部の 2022～2023 年度に予定されている取り組みを確認し、フィードバックを提供した。
- 新クラブ開発ワークショップ・プログラムを改良し、可能なときはコンサルタントがバーチャルでワークショップを実施することを奨励。
- プーナ・ライオンズクラブの会員調査の結果を確認し、会員種別の悪用を理由として同クラブの解散を勧告した。
- レオ地区と地区未編成地域のライオンズがグローバル・アクション・チーム・サクセスストーリーの資金を利用できるようにする提案を検討、承認した。
- 「ジェシー・ロビンソン会員増強カップ」という新しい賞を創設。

奉仕事業委員会

- ライオンズクラブ国際協会のアフガン再定住プログラムを拡大し、現行のローカル・スポンサーシップ・モデルに加え、奉仕の機会を含めることを決定。
- ウクライナからの避難者を支援したいと願うライオンズクラブに、ライオンズクラブ国際協会から情報、リソース、奉仕の機会を提供することを決定。さらにこうした支援を今後の大規模な難民危機に向け拡大できるよう準備するものとする。
- 奉仕の受益者数、奉仕アクティビティの数、奉仕を報告しているクラブの割合等、アクティビティ報告に関する報告を受けた。
- 国連ライオンズ・デー、ライオンズ・キャピトル・ヒル・デーおよびパーラメント・ヒル・デーを含む、アドボカシーイベントに関する最新報告を受けた。
- 各種奉仕プログラム、LCI グローバル重点分野の開発、ライオンズ国際戦略計画の実施について討議した。
- 2020～2021 年度「思いやりは大切なこと」奉仕アワードの受賞者について報告を受けた。

テクノロジー委員会

- 2022 年国際大会および選挙のサポートについて最新報告を受けた。
- 現在の Salesforce 実施、ならびに Salesforce Experience Cloud の導入と Salesforce Experience Cloud のための追加予算について、最新報告を確認した。
- テクノロジー部の 2021～2022 年度第 3 四半期予算収支予想と 2022～2023 年度予算案を確認した。
- プライバシー保護の取り組みと、一般データ保護規則（GDPR）に関連して講じられている継続的な措置について最新報告を受けた。
- インフラストラクチャーの取り組み、コンプライアンス、ネットワークセキュリティ、インフラストラクチャーの改善に関する進捗状況を確認した。